

働き方改革セミナー

グローバルなライフスタイルに合わせた働き方のススメ

～平成 26 年度成果報告～

平成 27 年 7 月 8 日(水)、TJK プラザ多目的ルーム(東京・飯田橋)にて、働き方改革セミナー「グローバルなライフスタイルに合わせた働き方のススメ～平成 26 年度成果報告～」を開催した。参加者は約 120 名だった。

第 1 部は「働き方改革の潮流」と題し、基調講演として現在の IT 業界で働く人々を取り巻く労働環境についての問題提起が行われた。その後、業界内の取り組みについて紹介した。また、第 2 部では「テレワークによるワークスタイル変革の推進」として、JISA 発行である『ユビキタスワークスタイル(働き方)変革実践ガイドライン』についての報告と、他業界の先進事例の紹介があった。



■第 1 部 働き方改革の潮流



はじめに、基調講演として麗澤大学経済学部長である下田健人教授より、「IT エンジニアの働き方」と題した講演があった。下田教授は日本とシリコンバレーの環境比較を行った上で、我が国の情報サービス産業の労働実態を紹介した。その中でも主に長時間労働と有給休暇取得についての課題点を指摘し、問題提起を行った。



次いで、業界内の先進事例の紹介として、平山伸一氏(伊藤忠テクノソリューションズ(株))が朝方勤務による社員の意識改革やその効果、今後の取り組みについて講演を行った。続いて宮崎弦一氏((株)シーエーシー)より、管理スキ-



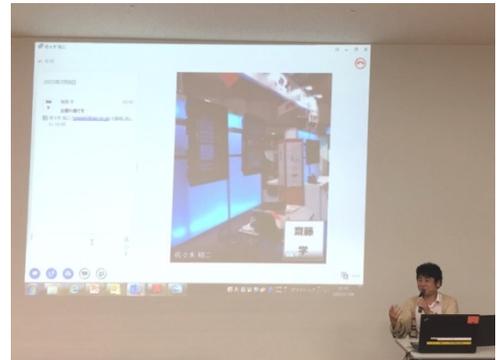
ムの強化による時間外労働の削減の施策について説明があり、定期的なメンテナンスと地道なアプローチの大切さを訴えた。最後に河辺恵理氏(SCSK(株))より、スマートチャレンジ20による効果と、次なる施策である「健康経営」「人材育成」について新たな制度内容の紹介があった。



■第2部 テレワークによるワークスタイル変革の推進



休憩をはさみ、齋藤学委員（平成26年度市場創造チャレンジ委員会ワークスタイル変革プロジェクト）による「ユビキタスワークスタイル（働き方）変革実践ガイドライン（第二版）」の報告が行われた。報告では、個々人のライフスタイルの変化により、働き方の垣根がなくなりつつある現代において、テレワークを利用することで自分でライフとワークをマネジメントしていく大切さを訴えた。また、テレワークの利用イメージを紹介するためにデモを行い、他の会場にいる委員とスムーズにコミュニケーションを取る姿を紹介した。



最後に業界外の先進事例紹介で、櫻井香織氏（日産自動車（株））より、主に社内で取り組んでいる在宅勤務制度について、活用事例や評価・効果などを紹介した。次に高橋文子氏（カルビー（株））は、社内の働き方改革にあたって実践した、『環境改革（オフィスなどハード部分の整備）』と『意識改革（働く人の意識などソフト部分の整備）』について、様々な施策を紹介した。



（増田）